

おもしろ算数 ⑤⑦ (小6年生)

(このページは、直接入力できません。そのまま見るか、印刷してもらって使ってね!!)
小学校6年生のみなさん、こんにちは。

おもしろ算数⑤⑦は、「およその数を決め出す」問題です。



【問題】

箱の中に、小さな白い球が入っています。
いま、箱の中から、白い球を取り出したら66個ありました。その66個全部に目印を付けて、箱の中に戻しました。
箱の中をよくかき混ぜて、もう一度、小さい白い球を取り出しました。すると、白い球は全部で84個あり、その中に目印を付けた球が3個混じっていました。
ここで問題です。
この条件において、箱の中にある白い球（印を付けた球も含める）は、約何個あると考えられるでしょうか。

【自分の考え】

答え. 1848個あると考えられる。

はじめに、箱の中には66個の印の付いた球が入っています。

つぎに、取り出した84個の中に3個の印の付いた球が入っています。

つぎに、印の付いた球は全部で66個あり、それは取り出した3個の22倍になります。

$$66 \div 3 = 22$$

だから、取り出した印の付いた球の22倍が、箱の中にある印の付いた球になっているという、この問題の条件がはっきりしてきました。

そうすると、全体の球の数を考えるときも、同じ条件のもとで考えることになるので、

取り出した84個の球の22倍が、箱の中にある全部の白い球と考えられます。

答えは、 $84 \times 22 = 1848$ 答え. 約1848個と考えられます。

※これは、ある出来事の起こりうる場合を、「一部を取り出して考え、その結果から全体を推測する」考え方です。
よく考えてみると、いま大変恐ろしい新型コロナウイルス感染症の感染者数を考えるときにも活用できる考え方の一つになります。